

「さんべで体験 FRIEND CAMP！」

1 趣旨

- (1) 日本で暮らす外国籍などの外国にルーツのある親子がレクリエーションやスポーツ活動を通して交流し、親睦を深める。日本の伝統文化を体験し、日本文化や生活に対して興味関心や親しみをもつ。
- (2) 体験活動や参加者との交流を通じて、日本での生活に安心感をもち、自分たちの生活する地域や人々への積極的な関わりの第一歩とする。

2 事業の概要

(1) 期日

- ① 令和5年8月5日(土) <日帰り>
② 令和5年9月2日(土) <日帰り>

(2) 会場

国立三瓶青少年交流の家

(3) 後援

大田市教育委員会
出雲市教育委員会
公益財団法人しまね国際センター

(4) 協力

大田日本語サークルこだま
こどもサポートプロジェクト

(5) 対象

外国にルーツがある親子
※小学校等の児童又は中学校等の生徒とその家族

(6) 参加者

- ① 6人(1家族3人、個人参加3人) ※募集10家族30人程度
② 12人(3家族10人、個人参加2人) ※募集10家族30人程度

(7) 日程・内容

① 令和5年8月5日(土) <日帰り>

10:00	10:30	12:00	13:00	14:00	16:00	16:30
受付	はじめの会	昼食	・どきどき神楽鑑賞 伝統の歌や舞を 体験してみませんか？	・わくわくレクリエーション カナダ生まれのニュースポーツ キンボールをやってみよう！	おわりの会	退所

② 令和5年9月2日(土) <日帰り>

10:00	10:30	12:00	13:00	14:00	16:00	16:30
受付	はじめの会	昼食	・わくわくレクリエーション おにぎり型のふしぎなボール ふらば〜るバレーボール体験！	・うきうき琴体験 日本の楽器の演奏を してみよう！	おわりの会	退所

3 事業の特色

(1) プログラムデザインと企画のポイント

① 日本文化や生活に対して興味関心や親しみをもつプログラム

本事業は、日本で暮らす外国籍などの外国にルーツがある親子が日本の伝統文化を体験し、日本文化や生活に対して興味関心や親しみをもつことを趣旨に行ったものである。

神楽鑑賞では、神楽団にインタビューする形式で神楽の起源や神楽団の舞の特色を尋ね、神楽や地域の伝承について知る機会とした。神楽の上演後には、神楽の衣装や面に触れ、写真撮影を行う時間を設定した。

琴体験では、箏指導者資格がある職員が講師となり、日本での琴の歴史や琴や箏爪の使い方の基本について学ぶ場面を設定した。「さくらさくら」を練習曲とし、伝統的な日本の楽曲に触れる機会とした。

② 参加者との交流を深めるプログラム

本事業を通して参加者間の交流を深めたいと考え、アイスブレイクやレクリエーションの時間に参加者同士が協力して活動するようにした。互いに協力しながら取り組む中で自然と活発な会話が生まれることを期待して、「キンボール」や「ふらばーる」においては各家族が入り混じるように班分けをした。

③ 文化の違いに配慮した内容とスケジュール

協力団体から、外国にルーツがある家族にとって、習慣や就労形態から宿泊の敷居が高いことが指摘されていたため、日程を宿泊から日帰りに変更した。また、青少年教育施設の利用に慣れていないことが予想されることから、はじめの会の後に施設案内の時間を設定したり、昼食の食堂利用時にスタッフも一緒に食事をしたりした。さらに、各活動の時間を多めに確保することにより、余裕があるスケジュールの設定を心掛けた。

(2) 運営（連携）のポイント

事業の企画段階から地元大田市で活動する「大田日本語サークル」代表の平田節子氏や「こどもサポートプロジェクト」代表の堀西雅亮氏と打合せを行い、助言を受けた内容をプログラムに反映するようにした。また、事業前に参加者と連絡を取り、言語面や活動内容について、不安な点がないか確認し、プログラム内容やサポート体制に反映した。

(3) 広報のポイント

多言語に対応できるようにするため、日本語のチラシのほかに英語とポルトガル語に翻訳したチラシを作成した。大田市周辺市町の日本語教室にチラシ配布をするとともに、当所のホームページやFacebookを活用して情報発信を行った。その他、「しまね国際センター」のホームページ掲載や日系ブラジル人従業員が多く在籍している企業での社内掲示等を依頼した。

4 参加者へのアンケート結果

(1) アンケートの集計 (%)

① 令和5年8月5日（土）

	満足	やや満足	やや不満	不満
事業全体	100	0	0	0
はじめの会	67	33	0	0
神楽鑑賞	83	17	0	0
キンボール	100	0	0	0
スタッフの対応	83	17	0	0

② 令和5年9月2日（土）

	満足	やや満足	やや不満	不満
事業全体	100	0	0	0
はじめの会	100	0	0	0
ふらばーる	100	0	0	0
琴体験	100	0	0	0
スタッフの対応	100	0	0	0

(2) 参加者の声

① 令和5年8月5日（土）

- ・キンボールの遊びを知ることができてよかった。
- ・神楽が楽しかった。
- ・うれしい気持ち。また来たい。
- ・楽しかった。いっぱい運動できた。また FRIEND CAMP に来たい。

② 令和5年9月2日（土）

- ・(琴の)音がきれいだった。
- ・(外国にルーツがある親子の日本人親族の声)知らない人と交流できて楽しかったです。特に外国の人との交流は有意義でした。外国から来られた方が日本を好きになり楽しく生活ができるといいなと思います。
- ・子供達が楽しく参加している時の笑顔がうれしく思います。スタッフの皆さんに感謝します。
- ・またいきたいです。

5 成果と課題

《成果》

日程を宿泊から日帰りに変更した結果、延べ18人(3家族13人、個人参加5人)の参加となった。昨年度参加者の4人(1家族)より増え、多くの体験の場を提供することができた。また、様々なルーツがある小学校低学年から中学生までの幅広い年代の青少年やその保護者が参加し、互いに交流し、親睦を深め合う場とすることができた。そして、神楽や琴の日本伝統文化についても、楽しむ様子や、積極的に活動する姿を見ることができると、日本文化に興味関心や親しみをもつ機会とすることができた。

《課題》

参加者の大半が大田市在住であり、他の市町村からの参加は1家族のみとなった。要因としては、施設や事業の認知度の低さや施設へのアクセスの悪さが挙げられる。今後は、対象者のニーズに基づいた企画づくりのみだけでなく、各地域の日本語教室等外国人住民のための活動を行っている諸団体と関係を構築することや丁寧で地道な広報が必要である。

① 令和5年8月5日（土）



② 令和5年9月2日（土）



(担当：事業推進係主任 田村 徹平)